

平成28年度 2年生「現代文」シラバス

教科	科目	開設学年	教材名等	単位数
国語	現代文B	2	『精選 現代文B』(大修館書店)	2

到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
------	--

到達目標に向けての具体的な取り組み	①「現代文」の授業で様々な文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにする。 ②学んだことを定着させるために、授業ノートやワークシートの整理及び学習内容の復習を徹底させる。
-------------------	--

月	単元	教材名	学習内容	評価方法
4	一 随想・評論	・可能無限 ・ミロのヴィーナス	・筆者の主張を正確に読み取り、それを自分の問題として受け止め、考えをまとめる。	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
5	二 小説(一)	・山月記 ・待つ	・漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容をとらえ、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。 ・登場人物の複雑な心理を読み取り、作者が何を描こうとしたのかを考える。	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・紹介文 ・定期考査
6	三 評論(一)	・家族化するペット ・システムとしてのセルフサービス	・ペットを巡る状況から導かれる現代社会の様相について把握し、問題点や社会の変化について自分の考えをまとめる。 ・日常的な活動をシステムとしてとらえた文章を読み、その表現や論考の手法を理解し、自己の置かれている社会についての見方を養う。	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査
7	四 詩	・竹 ・蟬頃 ・樹下の二人 ・永訣の朝 ・I was born	・詩歌を音読することで、その独特のリズムを味わう。 ・詩歌における技法、表現の特色などを理解する。 ・作者の思想、感情を理解する。 ・詩歌を読むおもしろさを体験することによって、詩歌への興味、関心を持つ。	・観察(発言・発表) ・音読 ・ノート ・作文 ・定期考査
9	五 評論(二)	・分かち合う社会 ・科学の現在を問う	・筆者の主張を正確に把握し、人間社会の普遍性について考えるとともに、科学的に物事をとらえることの大切さやおもしろさを味わう。 ・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、現代における科学のあり方について考える。	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
10	六 小説(二)	・山椒魚	・登場人物の行動や情感を読み取り、言語や文化、平和、戦争といったテーマについて筆者が何を描こうとしたのかを考える。 ・山椒魚や小エビの行動や心理の変化を正確に把握し、寓話的な話のおもしろさを味わう。	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・定期考査
11	七 評論(三)	・人を指す言葉—— 自称詞・対称詞・他称 ・敬語への自覚、他者への自覚	・日本語に関する論証の展開、結論を正しくとらえ、自称詞・対称詞・他称詞以外の人を指す言葉にも目を向けて日本語に対する興味を深める。 ・「敬語」と「他者への自覚」との関係を論理として読み取り、筆者の主張について、自分の意見をもつ。	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・定期考査
12	八 小説(三)	・こころ	・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、小説の鑑賞力を培い、おもしろさを味わう。	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・作文 ・定期考査
1	九 評論(四)	・「である」ことと「する」こと ・世界は、いま— 「多文化世界」の構築	・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。 ・特に、日本の「近代」のあり方について考える。 ・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、現代の国際社会における文化の多様性について考える。	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査
2	十 社会生活と文章	・「お」と「ご」の使い分けについて ・世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(前文)	・日本語の揺れについての具体的な事例をもとに、言葉の本質を考え、その他の身近な例を考える。 ・条約や法律の文章の特徴を明らかにして、形式や文体の多様さについて理解する。また、関連するものを調べるなどして、視野を広げる。 ・広告に使われる文章の手法を理解し、自分でも作成することを試みる。	・観察(発言・発表) ・ノート ・作品
3	十一 近代の文章	・たけくらべ ・武蔵野	・雅俗折衷の文語体の文章に慣れ親しみながら、描かれた人物、情景、心情などを読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、少女期の終わり頃の心情描写を読み味わう。・明治期の言文一致体の文章による自然描写を読み味わう。特に、「自然」がどのように発見されていったか、について考える。	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査